



時事通信神戸総局長

清水 泰至

## 地震、目をそらさずに

@ひょうご

阪神・淡路大震災から31年が過ぎた。1月17日の前後は昨年(2025年)に続き地震や防災について多くの専門家の話を聞く機会を得た。昨年は有識者の助言を参考に防災用品を更新したり、職場の仲間といざという時の避難経路や方法を確認・共有したりした。

今年の気付きは少々趣が異なっていた。地震学の専門家の講演を聞くうちに、震災の厳しい現実から無意識のうちに関心をもち、目をそらさずとされている自分に気が付いた。

自分は従来、ある程度の規模の地震が起きれば地殻に蓄えられたエネルギーが放出され、さらに大きな揺れが発生するリスクは低下すると考えていた。しかし、専門家によると、それは間違っていた。地震を引き起こすエネルギーはそんな生易しいものではなく、逆に「地震が起きやすくなっていると理解すべきだ」とくぎを刺された。

具体的には、マグニチュード(M)9.0を記録した2011年3月11日の東日本大震災の2日前に、M7.3の地震が同じエリアで発生していたそう。3.11の被害があまりに甚大で、「2日前のことをほとんどこの日本人が覚えていないだけ」とこの専門家は話していた。24年1月の能登半島地震の際も約3年にわたる群発地震が続いていたという。

先に、一度大きな揺れが起きると大地震のリスクは下がると自分は考えていたと書いた。自省を込めて今思い直すと、この考えに科学的な根拠はなく、「地震が起きてほしくない」という願望に過ぎなかった。結果、災害リスクを過小評価し、備えは不十分だった。

地震は自然現象で人間にはコントロール不能だが、われわれの意識や準備次第で被害は減らせるはずだ。改めて日頃の備え、心構えが大切だと感じている。

左の記事を読んで、下の問いに答えましょう。

1 傍線部で、筆者は地震についてどのように考えていましたか。本文中から55字で抜き出し、最初と最後の3文字を書きましょう。

			~			
--	--	--	---	--	--	--

2 専門家は、ある程度の規模の地震が起きたとき、どのように考えるべきだと言っていますか。本文中から15字以内で抜き出し、最初と最後の3文字を書きましょう。

			~						
--	--	--	---	--	--	--	--	--	--

と考えるべき。

3 東日本大震災と能登半島地震の前には、どんなことがありましたか。解答欄に合わせて本文中から適語を抜き出して入れましょう。

東日本大震災の2日前に 

--	--	--	--

 の地震が発生していた。

能登半島地震の約3年前から 

--	--	--	--

 が続いていた。

4 傍線部と同様の内容を解答欄にあわせ、本文中から10字で抜き出して最初と最後の3文字を書きましょう。

			~				
--	--	--	---	--	--	--	--

している。

# NIEワークシートのこたえ（2026年2月22日公開）

## ◆ワークシート「地震のメカニズム(理科)」 2026.2.22付 朝刊 4面 解答

- 1 ある程 ～ 下する
- 2 地震が～ている
- 3 M7. 3 群発地震
- 4 災害リ ～ 小評価